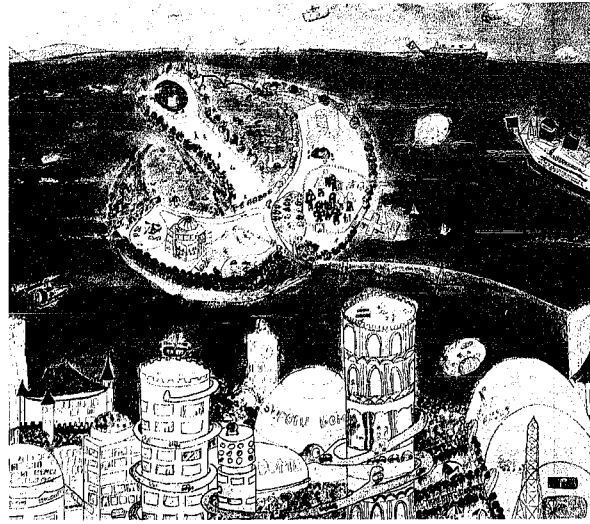
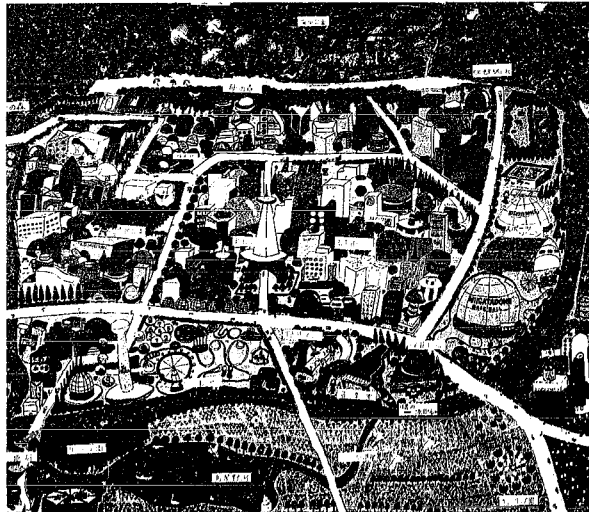


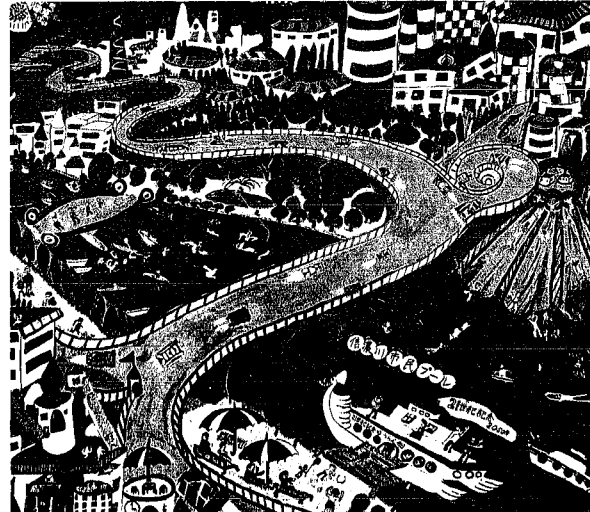
「自然と文化の調和した街 新潟」
未来の新潟は、都市機能が集まっているブルーゾーン。緑が広がり海中公園もあり、憩いの場となる信濃川ゾーン。佐渡と新潟を直接結ぶ海底トンネルをそなえたすばらしい所、こんな自然と文化の調和した都市にしたい。(白山小学校)



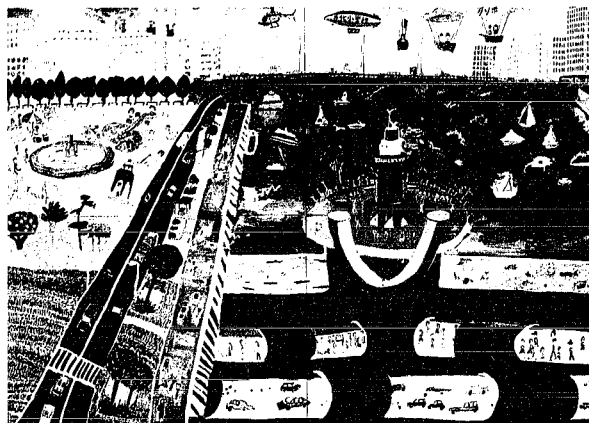
「50年後の新潟」
50年後には、円形の建物が多くなり、空を自由にとべる乗り物が発明されると思います。また、新潟・佐渡間にゆめのかけ橋がかけられ、橋のど中にイカリ形の人工島が造られるといいなと思って、かきました。(江南小学校)



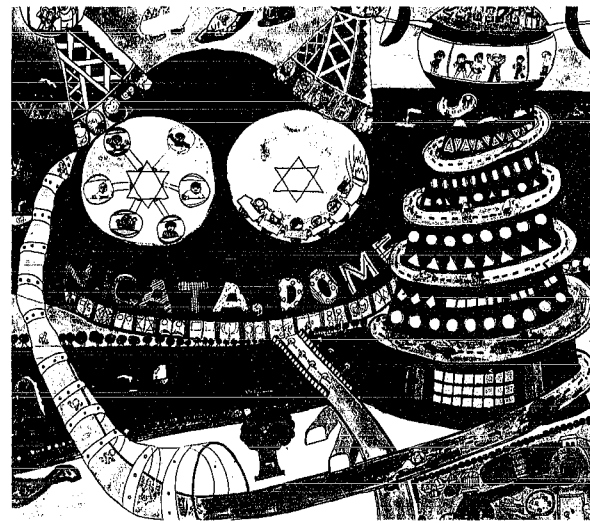
「未来の新潟市(緑あふれる町)」
空気はすがすがしく水はきれいだ。緑の木々はとても多く、スポーツゾーンや音楽堂があり、さかに行われています。このほか子供、大人が楽しめる海中公園。魚たちが気持ちよく泳いでいます。新潟は人々の楽園なのです。(浜浦小学校)



「50年後の新潟市」
万代橋を中心とした新潟市は、暮らしよく楽しい市民の喜びの街です。信濃川にかかる万代橋は長く港までのびて、新空港に続き、線にかこまれたハイウェイを短時間で往復します。水の美しい信濃川は、半分に仕切り、市民プールで自由に水泳を楽しみます。(小針小学校・4年生)



「未来の信濃川と万代島タワー」
雪の多い新潟には地下道がたくさんでき、冬でも暖かく通行できでしょう。川の中にある万代島タワーは、地下道の空気をきれいにするだけでなく、小鳥やちやうの集まる楽しい公園です。信濃川の水は澄みきって、たくさんの魚が泳ぎまわり、私たちに自然の恵みを与え続けてくれるでしょう。(万代小学校)



「未来の新潟」
ほとんどの人が、一つの大マンションに住んで生活をします。近くには、新潟ドームがあります。そこで野球をしたり、観覧車やジェットコースターに乗ったりして楽しめます。(鳥屋野小学校・5年生全員)

ボウの夢、わたしの夢、未来のにいがた

NEXT100
私たちのまち、新潟はどう変わるか?
これからの100年にむけて

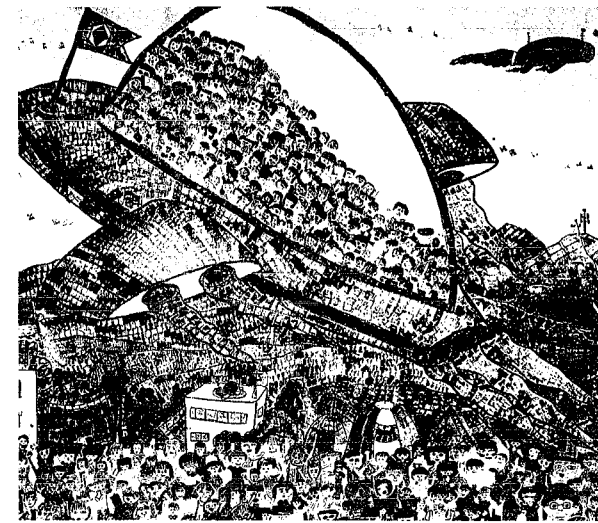
市内の小学生(57校)が、新潟の未来について考え、夢を描いた作品です。子どもたちが描いた未来のにいがたの作品は、市制100周年記念事業として実施された「市制100年展」に展示されていたもので、それぞれの作品は1人ひとりの絵ではなく、学校単位で、みんなで描いた大きな絵(180cm×200cm)です。本号では、57作品の中から15点を紹介。そのほかの作品については、「市報にいがた」で順次紹介をしていきます。



「さきだんごタワーのあるまち」
新潟のシンボル「笹だんごタワー」。そこから、ケーブルカーで市内めぐりができます。「こどもランド」「動物ランド」「ウォーター水族館」楽しいですよ。そして、なんといっても、新潟火花//新潟は、最高の街です。(大淵小学校・2年生)



「新潟市から佐渡につるじのガラスの橋をテーマに書きました」
50年後、佐渡につるじの橋ができ、その中をリニアモーターカーのような宙に浮く乗り物ができ、天気がどうであろうと、身近に佐渡に行ける、大陸続きのようになる橋です。高層ビルの屋上には、ガラス張りのドームのような物ができ、子供たちの遊び場となり、活用されます。(五十嵐小学校)



「未来の全校大修学旅行」
今、大型ロケットが本山を飛び立ちました。うれしそうに、全校239人の笑顔が見えます。これから宇宙体験へ行くのです。(一人ひとりが自分の顔を描きました。)(木山小学校)



「日本海の真ん中で大きな花火を上げるんだ」
新潟と佐渡の真ん中に、すてきな海中公園を作って、新潟と公園と佐渡を、大きな橋で結びます。自動車も新幹線も、日本海の上を自由に走ります。そして、日本海の真ん中で、大きな花火を打ち上げます。(人舟小学校)

